

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 12月 1日

事業所名 コペルプラス 小田原 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		利用定員をオーバーしないように調整する必要がある。
	②	職員の配置数は適切である	1	7		曜日によって職員の配置に差が出てしまう。週 7 稼働で基準人員 3 名人員に余裕がなく有給休暇などが取得しづらい。 営業日の変更や職員の異動に関わる調整のための期間が十分でないことがある。 本部と常に現場を共有し、障がい特性や指導員の経験年数などに応じた人員を配慮できる体制を整えられるよう相談していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3		・事業所のある 2 階へは階段のみであるが、必要に応じて職員がバギーを運ぶ補助などを行っている。必要最低限の掲示物で、かつ視覚的にわかりやすい工夫や声掛けをしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	3		トイレなどの水回りはその都度清潔を心掛け清掃実施している。 設備の点検を行い、補修などが必要な箇所は迅速に対応し、不安なく心地よく過ごしていただけるように心がけている。
業務	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	1		教室内では全職員で目標設定と振り返りを行っている。

改善					本部との共有/連携をとれるようにする。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		保護者様の意見は全職員で共有し改善している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2		自己評価を行い公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4		該当なし
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		事業所内研修だけでなく行政が主催している参加可能な研修には積極的に参加し、事業所内で共有している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0		常にアセスメントは意識し職員間でケース検討を実施している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0		標準化されたアセスメントシートを使用し、決められた手順に準じて行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		児童発達支援ガイドラインに則って支援内容を設定している。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		常に見直しを行い、状況に合わせた支援計画を作成し支援している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		本部が作成した活動プログラムに基づいて教室内に合わせたものを職員全体で立案している。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		本部が作成している活動プログラムに沿って教室内のご利用者の特性や地域性を盛り込んでいる。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	0		子どもの状況を踏まえ保護者様のニーズに合わせて作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		朝礼を行い確認をしている。必要に応じて個別に打合せを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		・職員間で振りかえりは行うがシフト制のため必ずではない場合もあり申し送りノートを活用している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		記録を徹底し、周知伝達、確認を心掛けている。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		定期的、関係機関との連携や目標の達成状況などの状況に応じてモニタリングを実施し見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		職員全員が子どもの状況を把握できるように努力しているが、該当児童の状況に精通しているものが出席できるよう調整をしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1		相談支援事業所、保護者様のご希望に合わせて園や同施設とは連携を行っている。今後さらに連携していきたい。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	5		該当なし

や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	5		該当なし
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3		保護者様のご意向に寄り添い、相互見学やカンファレンスにて情報共有を行っている
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		保護者様のご希望に合わせて書面と電話にて情報共有を行っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		参加できる研修には積極的に参加している。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	4		今後交流していきたい。

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		協議会の実施はないが、地域の会議などがあれば積極的に参加していきたい。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		療育の時間を見学いただき、担当の指導員から毎回フィードバックを行っている。保護者の方からはご家庭や園でのご様子もうかがっている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	0		毎月実施し、参加の声掛けを行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		契約時や変更時に行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		ガイドラインの内容と保護者様のご意向も踏まえた支援計画を作成し、支援内容の説明を行い同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		療育時に同行いただいているのでその都度相談に応じられるように心がけている。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1		年に2回保護者会を開催している。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		相談や苦情などには迅速、かつ誠実に対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		毎月通信を発行し配布している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		細心の注意を払っている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		可能な配慮をしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3		現在は行っていない。 今後検討していきたい。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1		感染症についてのマニュアルが不完全、統一されたマニュアルを周知し訓練を行いたい。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		年に2回実施している。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		アセスメント時に確認している。個別に確認することが多いので定期的に行うように計画していく。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4		食事やおやつの提供はなし
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		ヒヤリハットが起きた日に終礼でも共有し再発防止に努めている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		本部棟の虐待研修に参加している。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		契約時に説明し確認を行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。